

大人のための情報モラル通信

SNS等における晒し行為について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

SNS等に他人の画像等を悪意を持って投稿する**晒し行為**が増えています。これは肖像権の侵害であり、内容によっては誹謗中傷に該当する重大な**人権侵害**です。

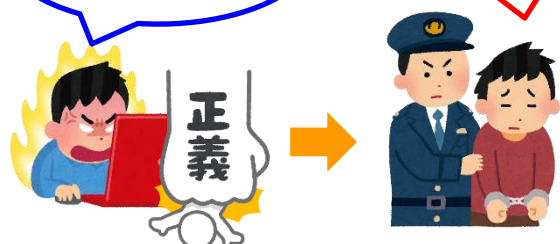
ネットパトロールにおいても、学校内の人間関係のトラブルによると思われるものや、性的な嫌がらせ目的と思われる晒し投稿が見つかっています。

調子乗ってるから匿名で晒すわw



これはひどい！
許せない！
SNSで晒してやる！

人違いで晒してしまった…



なかには「相手が悪いことをしたから晒してよい」と思っている人もいますが、大きな誤りです。本人は正義のつもりでも、重大な人権侵害の恐れがあります。

また、誤情報をもとに無関係の人を悪い人だと晒し者にして、警察の捜査を受けた人もいます。他人の問題投稿を拡散した場合も、責任追及を受けることがあります。

★被害に遭わないための考え方★

晒し行為を受けた時のダメージはかなり大きく、拡散された画像・情報等の回収や訂正はほぼ**不可能**です。そのため、被害に遭わないよう努める以外の対策はありません。

SNSに画像・動画を載せると、それらの転載を防ぐことはできません。「**転載禁止**」と言っても、無視する人はごまんといます。転載されることを前提として考える必要があります。

現在、多くの子ども達がそのようなリスクを考えずにSNSの投稿を行っています。もしも晒し被害を受けた場合、仮に犯人を突き止めて責任を取らせたとしても、ごく普通の一般人が自分自身の**名誉を回復することはかなり困難**です。



残念ながら現在のネット空間は嫌がらせ等を**「やったもの勝ち」**な状況です。法整備やモラルはすぐには追いつきません。SNSを利用する子ども達にはこのような現状を伝え**「悪意のある保存や転載は防げない」**というネットの仕組みをしっかりと伝えましょう。